

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	観光型ホテル（総務）	・新型コロナウイルス第3波が落ち着き、人の動きが出てくる。年末年始のGo To Travelキャンペーンの一時停止が解除され、国内旅行が復活すると予想している。
	◎	競馬場（職員）	・来客数の更なる増加が見込まれる。
	○	商店街（代表者）	・ワクチン接種が始まり、暖かくなる3月には、今の状況より若干上向くと期待している。
	○	スーパー（統括者）	・年末商戦は、新型コロナウイルスの影響で巣籠り需要が増幅すると予想され、当社の強み期間になる。数百品目の安心価格も好調であり、若干期待ができる。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンに期待している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・第3波の抑えこみとワクチン接種開始に期待している。
	○	コンビニ（エリア担当・店長）	・新型コロナウイルスの影響で、ステイホームが多くなると近隣の事業所の休業が多くなるため、巣籠り需要でコンビニエンスストアの利用に変化があり、第1波の状況のように売上や客数が伸びると予想される。
	○	家電量販店（従業員）	・年末年始の買換えと暖房器具の需要が増加していることで、若干良くなる。
	○	乗用車販売店（総務担当）	・年度末の需要期でもあり、前年レベルの販売台数や売上高を確保予定であるが、新型コロナウイルス第3波の影響が懸念される。
	○	観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルスの状況次第であるが、暖かくなって収束し、旅行ブームが始まることに期待している。
	○	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で止まっていた予算が、確定し始めている。また、新型コロナウイルス終息後に向けての企画や引き合いが増えている。
	○	観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスワクチンの配布が開始されれば、多少回復すると見込んでいる。
	○	学習塾（従業員）	・3か月先は春になり、新型コロナウイルスは落ち着くと考えている。
	○	住宅販売会社（従業員）	・グリーン住宅ポイント制度の公表によって住宅検討の材料は増え、上向き傾向になっていく。
	□	商店街（代表者）	・このままの状況では、影響が大きくなり先行きが全くみえず、当地でも感染が拡大しているため、来年もこの状態が続くと懸念される。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが終息しなければ、状況が変わらない。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの状況によるため、全く予想が付かない。ワクチン接種に期待している。
	□	商店街（代表者）	・消費回復が少しでも上向きになることに期待したいが、地方では、近隣で新型コロナウイルス感染の報道が流れた途端に外出控えが発生し、商店街の人通りは減少し、売上に響いている。今後の不安を隠せない。
	□	百貨店（企画担当）	・寒さのピークと、年度末が近づくとつれ、人の往来や接触がこれまで以上に活発になる時期が重なるため、新型コロナウイルス感染拡大による客足の鈍化が懸念される。
	□	百貨店（営業担当）	・ギフトやクレジット催事利用、年末年始商品購入のための友の会金券やプレミアム付商品券の利用は好調である。帰省自粛や県外客との接触警戒による外出抑制で3世代の来店は依然減少しているものの、購買意欲はあり、季節催事のWebや通販受注は伸びている。店頭での自家需要のための紳士・婦人衣料雑貨や家電製品、し好性の高い舶来雑貨、時計、工芸品は堅調であるが、一方、慎重な行動姿勢・生活防衛意識は依然継続しており、街への外出抑制が強く回復感が弱い。
□	百貨店（売場担当）	・1月は各店対策をして初売り等に臨むため現状の流れが継続し、2月はイベントが中止になることで全体的な数字が減少すると考えられる。しかし、3月は前年が落ちすぎているため上向くと予想している。	
□	百貨店（経営企画担当）	・来客数の減少傾向は継続しているものの、客単価の増加により売上は回復傾向にあるが、現在、新型コロナウイルス感染者の増加傾向が強まっており、先行き不透明な状況が続いている。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（プロモーション担当）	・ワクチン接種で新型コロナウイルス禍が落ち着いても、消費者の価値観が変化し、戻らないのではないかと考えている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルス禍により、年末年始の帰省自粛や外出自粛といった状況となっており、本来ならば消費が拡大する年末商戦も予想ができず、微妙なところである。年明けも感染が拡大すれば、再度巣籠り需要による売上増加も見込まれるが、以前とは違い、消費者も新型コロナウイルス禍慣れしているため、巣籠り一辺倒とはいかず、外食やテイクアウト、デリバリー等を組み合わせた生活様式を選択でき、さほど上向かないとも考えられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスがほぼ収束すると旅行や外食、宴会、外飲み等で一気にスーパーマーケット需要が落ちると予想しているが、急激な収束はないと考えている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・3か月後も新型コロナウイルスのワクチン効果は未知数であり、不安定材料も多く、厳しい状況は大きく改善されない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・年末の予約商材であるクリスマスケーキは、新型コロナウイルスの影響で大々的にキャンペーンをしていないこともあるが、前年と比較して低調な結果になっている。おせちは高額品に客の目が向き、良い結果となっているが、客の全てに対する自粛や第3波の影響で、出口がみえない状態である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が始まれば、心理的にも景気は上向き、買物利用も増加すると考えられるが、テレワークやリモート等のニューライフは継続するため、当面は現状維持である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・政府の発表やメディアの報道等では、新型コロナウイルスの終息は当面見込めず、外出自粛要請や飲食店の時短営業要請等により、経済活動の回復が見込めない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・一刻も早くワクチン接種が開始され、沈静化に向かうことに期待している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスが収束する気配が全くないが、その状況が続けば巣籠り需要は継続する。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・前年比2けた伸長が続いており、新型コロナウイルス禍で依然として家電業界は好調である。再び感染者増加により、自宅で過ごす時間が増え、この流れが継続すると予想している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・家電量販店では、新型コロナウイルス禍であるが、余り影響が出ていない。逆に巣籠り需要により、テレビやビデオ関係、ゲーム機が非常に動いており、前年比100%の売上がある。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（総務担当）	・当面現状のまま推移すると予想されるが、新型コロナウイルス感染の長期化による消費全体の落ち込みが懸念される。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（広報・IR担当）	・現在、新型コロナウイルスの感染が拡大しており、先行き不透明である。ワクチンの接種状況も判断していく必要がある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・現況では、なかなか見通しができない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [コーヒー豆]（経営者）	・毎年12月のコーヒーの売上は、歳暮需要もあって客単価が上がっており、増加傾向にある。今年に限っては、来客数は減少しているものの、売上は前年より僅かであるが増加している。年が明けてもこの状況は余り変わらないと考えられる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	・燃料油の小売価格の見込みは、予想しづらい。都道府県をまたぐ移動は自粛傾向にあり、当地を訪問する観光客やビジネス客は、余り期待できない。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター]（統括者）	・新型コロナウイルス第3波が収束しない限り、Go To キャンペーンの再開も見込めず、厳しい状況は続く。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（販売担当）	・Go To Travel キャンペーンの延長が決まり、2月までは何とかしのぐことができそうだが、非常に不安である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（職員）	・1月11日まで決定しているGo To Travel キャンペーンの中止が延長されなければやや良くなる可能性があるが、現時点では中止延長も想定されるため、変わらないと予想している。

□	タクシー運転手	・まだ新型コロナウイルスが終息する気配がないため、横ばいが継続する。
□	通信会社（業務担当）	・今後の新型コロナウイルスの影響により、悪くなる可能性がある。先が読めない状況である。
□	美容室（経営者）	・2～3月の景気は、通年下がり気味であるが、12月は高い数字ではないため、横ばいで推移していくものと予想している。飲食業のように9割減少ではないため、新型コロナウイルスが少しずつ収束していけば、ファッション産業は徐々に回復していくと考えられる。
□	設計事務所（所長）	・結果は2～3か月後に出るため、現在の悪い状況が続いている。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍が収束しなければ、全ての状況が回っていかず、売上にも大きな打撃を受けている。今後の新型コロナウイルスの影響による客の動向を危惧している。
▲	一般小売店〔青果〕（店長）	・まだ第3波が底打ちをしておらず、年末年始には人の動きもあり、1～3月は新型コロナウイルスの影響を見極める時期になると予想される。人や物の動向に注視しており、厳しい状態が続く。
▲	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・年明けは例年悪くなるが、今年は帰省客も少なくなるため、土産等も減少することで、現状より若干悪くなると予想している。
▲	一般小売店〔精肉〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、飲食店向けの卸売が、更に悪化するものと予想される。
▲	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大のためにGo To Travelキャンペーンも中止となり、来客数は回復しない見込みである。福袋やクリアランスセールといった正月商戦も規模の縮小を余儀なくされている。
▲	百貨店（営業担当）	・Go Toキャンペーンは、混乱を招いただけで、失敗である。
▲	百貨店（販売促進担当）	・年末年始に突入し、来客数が増加しているが、新型コロナウイルスの影響で減少することが予測される。
▲	百貨店（業務担当）	・成人式の中止など、コト需要が大きく減少すると、しばらくは大きく停滞すると予想される。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、景気動向は変動する。したがって、現状の段階では、景気は下降すると推測される。
▲	スーパー（企画担当）	・年末年始の帰省客減が、来客数に大きく影響すると予想される。福袋は前年実績並みの数量確保をしているが、アパレルテナントは事前予約にシフトしており、これも来客数の減少につながる懸念される。一方で1月4日から通常業務が始まることから、日常的な消費は、早く回復すると予測している。
▲	衣料品専門店（総務担当）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況による。
▲	住関連専門店（経営者）	・12月は感染者の増加が止まらず、年末年始この状態が継続すればキャンペーン中止になり、今年の2～3月のような先行きの厳しい状況が考えられる。
▲	住関連専門店（従業員）	・高級寝具の需要は、春が近づくにつれピークアウトするため、売上は落ち着いていくと考えられる。また、新型コロナウイルスの変異種のまん延等ネガティブな要素があり、先行きが懸念される。
▲	その他専門店〔書籍〕（副店長）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、景気は悪くなる。
▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・年末年始が明け、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めが利けば、前年超過している今の水準を保つことができるが、感染者数とワクチンの状況からも、今後2～3か月の先行きは明るくない。倒産が増える前に、支援策に期待したい。
▲	観光旅館組合（職員）	・このまま新型コロナウイルス感染者数が増加すれば、Go To Travelキャンペーン再開も延期される可能性があり、先行き不透明のため非常に不安である。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・第3波がいつまで長引くのか、また、新型コロナウイルスの変異等の不安定材料ばかりで、先行きは不透明である。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況と対策に大きく左右されるが、夏までこの状況が繰り返されると予想される。
▲	タクシー運転手	・全てが新型コロナウイルス収束に懸かっているため、見通しが立たない。

▲	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスに起因すると考えられる需要増加がほぼなくなり、低調な販売量に戻ると予想される。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響が出てくると予想される。
▲	ゴルフ場（従業員）	・ここ2～3年は積雪もなく、韓国人来場者も順調に推移していたが、今年は韓国人来場者が見込めず、積雪の予想もあり厳しい状況が予想される。
▲	ゴルフ場（営業）	・首都圏を中心に、新型コロナウイルスの流行が収まる気配がない。
▲	美容室（店長）	・今月は少し良くなっているが、2～3か月先は新型コロナウイルスの影響が分からないため、予測できない。
▲	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・委託契約業務は、年間契約をしており、今年度に限っては影響は少ないが、再契約の際には単価見直し意向が強い。また、年間契約でないサービス業務は、明らかに売上が落ちてきており、今の新型コロナウイルス禍の状況では回復を望めない。
▲	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・第3波の感染拡大状況によっては、第3者の訪問リスクから、サービスキャンセルが増加することが懸念される。
▲	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	・冬季に掛かり、新型コロナウイルス感染の拡大が景気に影響してくると考える。
▲	設計事務所（代表）	・イベント自粛により、景気は悪くなる。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍にあり、感染者数増加の影響により、来客数も間違いなく減少すると予想しており、明るい兆しが無い。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが流行している状況では、景気は良くならない。
×	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえないことが主因である。
×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの終息が分からないために、先行き不透明で予測が立てられない。
×	衣料品専門店（店長）	・外出が減少すると新しい洋服も不要になり、来店する機会も減少している。そのため、売上が上がらず、明るい要素が見られない。
×	乗用車販売店（従業員）	・初売り商戦後は、新型コロナウイルスの影響が出そうである。
×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響が、かなり出てきそうである。
×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが感染拡大し、ワクチンをすぐに接種できないため、ますます人の動きが止まり、忘年会や新年会等が9割なくなっている。来年は一層悪くなるのではないかと危惧している。
×	高級レストラン（経営者）	・2～3か月後は、全く見通しができない。年明けの予約状況もバラバラで、今後新型コロナウイルスがどのように影響するのか、また、収束後に来店客が戻ってくるのか予想できず、懸念している。
×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染の状況による。Go Toキャンペーンの実施は評価できるが、中断されることによる危機感や自治体の明確な取組がなく、先行きがみえず不安しかない。
×	一般レストラン（スタッフ）	・全てにおいて悪くなる要因しかない。
×	スナック（経営者）	・12月に入り新型コロナウイルス感染者数が増加しており、今後は更に気温が低下し、ますます感染者は増えていく可能性が高い。その影響により、宴会や会食も自粛され、来客数は大幅に下がると予想され、忘年会の予約も軒並みキャンセルされている現状から、新年会や春の歓送迎会も期待できない。
×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・年末年始に見込んでいたほどの売上がなく、通期見直しも下方修正となる。会社業績が給与やボーナスにも反映され、また雇用調整助成金の特例も2021年2月までとなり、それ以降の雇用も今後不透明である。

	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、収入減少傾向になっており、個人や企業で建物を新築、増築する事は当分の間見合わせると考えられる。そのため、今後の業務に大きく影響すると予想される。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、ステイホームが多くなり、年末年始の消費動向が動いていないために、3か月先は景気が悪い状態が継続する。
企業 動向 関連 (九州)	◎	—	—
	○	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年度末に向けた予算実行が見込まれるため、若干良くなる。
	○	化学工業（総務担当）	・自動車関連製品の需要が持ち直している。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先の生産計画が、上向きである。
	○	精密機械器具製造業（従業員）	・前月後半から受注量が増産傾向にあり、2021年3月までは受注増産が継続する計画である。
	○	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・3月から生産アップの情報はあるものの、新型コロナウイルスにより、今後の状況も変わる可能性があるため、先行き不透明である。
	○	建設業（従業員）	・大型物件の受注が取れそうである。また、物件の着工が始まり、見積案件も程々にあり、景気は良くなると考えられる。
	○	広告代理店（役員）	・第4四半期予想が、現状よりも回復基調を示している。
	□	農林水産業（経営者）	・1～2月は通常でも伸びない月である。3月は移動や行楽シーズンで12月に次ぐ期待できる月ではあるが、現況では自粛ムードで期待できそうにない。しかし、2～3月に掛けワクチン接種が始まる報道があり、消費者心理の変化に期待をしている。ただ、基本的には外食部門が元の状態に戻るとは考えられず、新しいビジネススタイルへの転換も考えなければいけない。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・通常の地元取引は、余り変わっていない。新型コロナウイルス禍で出張もままならない状態ではあるが、インターネット販売でのふるさと納税は、前年より随分伸びている。今後、新型コロナウイルスの影響によっては、状況は変わっていくのではないかと危惧している。
	□	金属製品製造業（事業統括）	・新たな建築設備投資を客から感じられず、新型コロナウイルスの終息に懸かっている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・客の機構上の問題や米中貿易摩擦、また、新型コロナウイルスという大きな問題が解決されなければ前向きにならず、期待する状況にならないため懸念している。
	□	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・増産計画はないが、10月からの下期生産計画も高水準で安定している。
	□	建設業（社員）	・今年度は、災害復旧工事の予算も補正されているため、発注され受注できる状況である。技術者や作業員不足では、手の付けようがないが、技術者は、兼務が認められているため、災害復旧工事が年度初めも継続して発注されることを期待している。
	□	輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、明るい材料がない。
	□	輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は、経済にダメージを与えている。一方、厳冬により機能性衣料品や暖房機器等に関する購入意欲は増える見込みがある。今後は、新型コロナウイルス変異種をいかに封じ込めるかが鍵になる。
	□	通信業（職員）	・年度末までは受注済みの案件対応で、売上量も見込める状況である。
	□	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの変異種出現で、収束や景気の先行きには不透明感が広がる。中小零細企業や個人事業主の資金繰りは切迫しており、より効果的な経済対策や支援策が求められる。
	□	金融業（得意先担当）	・飲食業では、予約がキャンセルになるなど売上回復が見込めない状況になっている。当面足元の資金繰りを注視する必要がある、大幅な改善は見込めない。
	□	不動産業（従業員）	・賃貸マンション物件の入居率が横ばいに推移している。
□	経営コンサルタント（社員）	・外部への働きかけが難しい現況では、新しい動きは見られそうにない。	
□	経営コンサルタント（代表取締役）	・客の人材投資は、若干増えつつあるが、この先、再度投資を控える企業も出てくる。	

	▲	食料品製造業（経営者）	・商品主原料の農産物が不作のために減産が見込まれ、受注調整を行わなければならない。
	▲	繊維工業（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第のため、すぐに良くなることはまずないと考えられる。Go Toキャンペーンが開始された頃に戻る必要がある。
	▲	家具製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの第3波が猛威を振るっており、コントラクト市場はより一層冷え込むことが予想される。また、消費財とは異なる点から巣籠り需要における特需は期待できず、先のみえない状況が当分の間は続くものと考えられる。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で、一部の生産計画が下方修正となっている。
	▲	通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きが不透明なため懸念される。
	▲	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び大幅に増加してきたことから、Go To Travelキャンペーンが全国一斉に停止され、ホテルや旅館、飲食店等では先行きを不安視する声が増大している。
	▲	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の急拡大によりGo To Travelキャンペーンの一時停止になり、人の動きが当面鈍ることが予想される。取引先でも積極的な設備投資や資金を必要とする事業拡大は、1か月でマインドが冷えている状況である。したがって、新型コロナウイルス感染者の増減次第ではあるが、2～3か月先の景気は悪くなる。
	▲	金融業（営業）	・上向いてきた国内消費は、新型コロナウイルス第3波で、再び下降すると考えられ、書き入れ時である12月の落ち込みの影響は大きい。また、今後のプラス要因も乏しく、当面景気は停滞する。
	▲	金融業（調査担当）	・地場企業の多くが、新型コロナウイルスの影響によるセーフティネット保証制度を利用し、順次当該借入金の返済が開始される。ただ、感染再拡大で資金繰りや事業継続に影響を及ぼす懸念があり、今後は、各国の経済対策の効果や雇用、所得、企業の倒産件数の動向等、幅広く注視していく必要がある。
	▲	新聞社〔広告〕（担当者）	・ITや医療関係等好調な業種はあるが、それ以上に状況が悪い業種が多い。
	▲	その他サービス業〔物リース〕（職員）	・今期についても厳しい状況が続いているが、新型コロナウイルスの更なる増加に伴い、景気はより悪化する可能性が高い。
	×	農林水産業（従業者）	・年始は、更にモノの動きが悪くなると危惧している。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・12月の駆け込み需要が、売上を多少引き上げたが、見積りや引き合い件数の減少幅が大きい。1月以降の事業運営は更に厳しくなる。
	×	経営コンサルタント（社員）	・家庭用マーケットは活発であるが、業務用販売の減少が大き過ぎるため、全体の悪化となっている。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・補正予算による調査や計画策定等の委託業務のコンサルタントへの発注が少ない傾向が続くことが予想される。今年度は当初の見込みより受注が減少することになり、経営的に厳しい状況が続く。一部の県のように当県からの移動の制限が行われると業務の継続にも影響が出るおそれがある。
雇用 関連 (九州)	◎	求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチンも開発され、時間の問題である。どの企業も景気の手取りになると考えられ、景況感は急速にアップする。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの状況が若干好転することが期待でき、加えて、春には駅ビルオープン等景気が活性化されるトピックもあるため、少し上向くものと予想している。
	□	人材派遣会社（社員）	・派遣だけでは厳しい状態が続き、業務委託や直接雇用案件等にも力を入れ、何とか次年度の業務体制を維持していく状況である。
	□	人材派遣会社（社員）	・年始の新型コロナウイルスの感染者数にもよるが、多くの企業の担当者は、今の体制で様子を見ている。また、求職者の動きも鈍くなっている。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の終息の見込みが不透明である。

□	学校〔大学〕（就職支援業務）	・対面に加え、オンラインによるインターンシップの実施等、採用選考活動に向けた動きがみられる。継続的な企業活動により、多くの企業で採用者数を大幅に減少させることは考えにくい。新型コロナウイルス感染拡大の影響は継続し、新卒採用者数の調整は、更に進むと予想される。
▲	人材派遣会社（社員）	・長期の人材依頼数が減少している。
▲	人材派遣会社（社員）	・雇用調整助成金が2月末に終了するため、経営が厳しくなる取引先が増加すると考えられる。
▲	職業安定所（職員）	・飲食業や宿泊、観光業の事業所から先行き不透明感に対する不安の声が増加している。
▲	職業安定所（職員）	・Go To Travelキャンペーン等の事業で、年末年始に向け観光事業等の消費が戻りつつあったが、新型コロナウイルスの感染拡大により再び冷え込むようになっている。
×	新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に歯止めが掛かっておらず、引き続き経済活動の停滞、すなわち新聞広告量の減少が予想される。Go To Travelキャンペーンの先行きは不透明であるが、世論の反発を考えると、以前ほどの規模での再開は考えにくく、旅行関連の広告の回復も大幅には見込めない。年末年始の休暇で、人の動きが止まり、年明けに感染者数が減少すれば、状況が変わることも予想される。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業の年度末決算が出ると、来期計画が大きく変わると予想され、特に早期退職や人員削減、新卒採用の見送りが出てくる。また、国の持続化給付金や家賃支援給付金等の支給が終了するとかなり大きな影響がある。
×	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの終息がみえないところに、変異種も発見され、しばらくは企業業績も回復する見込みもない。今年新型コロナウイルス禍で採用を減らしながらもどうにか採用していた企業も、来年は縮小や見送りの動きが出てくる。